

花まるたより

11
2022

- 高濱コラム
- タケノコシート
- レインボータイム
- 花まるリビング
- 職人の無人島レポート
- 卒業生物語
- おはなしのキッチン
- 平沼純の旅する読書
- アノネ Lounge
- Rin コラム
- 花まるエシメンタリースクール
- みんなビレッジ
- スポーツサムライ
- タカラモノはここに
- 花まるコラム
- 花まるファミリー

2022年11月



愛を注ぐ

先日、会社のソフトボール大会に、3歳の男の子を連れて来ていたお母さん社員が、おもしろいことを報告していました。その日は、私を含めソフトボールにのめり込んでいる大人たちから、少し離れたところで、手の空いた社員たちが入れ替わり立ち替わり、その男の子と遊んでいました。絶叫と言っているくらいの声をあげ、笑い転げ、休む暇なくフリスビーを投げながら走り回っていました。そのお母さん社員によると、バスで帰ったのだが、いままではほど「できる」といって「言っていた、降車時の運転手さんへの「ありがとう」ございました」が、自らサラリとできたというのです。おそらく、たくさんの大人たちが好意を持って存分にヘトヘトになるまで遊んでくれたことが、彼の心をパンパンにして、その力で、ひるんでいた「課題」を主体的に乗り越えることができたのでしょう。遊び込むことがいかに子どもにとって大事か、という事例でもあります。

さて、先月書いた、花まるエレメンタリースクールの翌年度の説明会でのこと。興味深い話題になりました。「うちの子はHSC (Highly Sensitive Child) 非常に敏感な子」なんです、配慮していただけるのか」

というような質問が出たとき、花まるエレメンタリースクール校長・林の答えはこうでした。この4月に24人が入ってきたとき、かなりの数の保護者が、学校で調べたほうがいいと言われウィスクなどの検査をしたとして、何らかの症状名を伝えられた。実際に、敏感であったり離席が多かったり、他人とのコミュニケーションが取れなかったりするなど、その通りの「症状」を見せる子ばかり。ところが、半年経ち、喜んで通う場所になり、仲間の個性をお互いが理解し尊重できる空気になったいま、「あの症状名は何だったのか」という、のびのびした笑顔あふれる空間になっている、と。

これは、いま現在の日本の病巣を打ち抜く報告だと直観しました。教育の現場に行くと、学校であれ塾であれ「多動の子が増えたよね」「発達障がいって増えたよね。昔はこんなにはいなかったよね」というような会話がなされるのが多くあります。ネットなどで調べると、人工授精や高齢出産が多くなったせいではないかと、食品に含まれる合成甘味料など化合物の複合汚染ではないかと、根拠のない推測にすぎない言説が飛び交っています。

仮に実数として増えている方がいい

が、いま目の前に、そのような「症状」を発する子どもが、わが子だったり教え子だったりするときに、どうすればいいのか。その答えを、花まるエレメンタリーの経験が教えてくれたように思います。彼の言葉を要約すると、以下のようになります。

どんな子であれ、やってはいけないことはキチンと基準を示す、叱ることももちろんありつつ、笑顔と深い無条件の愛で包まれ「この世界にいいんだ」「僕がいることで喜んでくれる人が確かにいるんだ」と確信したときから、困りごととして発揮していた「症状」の大半は、コントロールできるものになる。

では、周りを困らせていたときはどうだったかというと、「育てにくいな」と悩み、眉根を寄せて、愛しければこそ「この子、どう育てればいんだろ」と不安になる親がいて、「問題のある子を見る目」で見られ、先生からは「〇〇症のある子」として「配慮する目、観察する目」で見られ、ともすると生活のあちこちの場で「何だこの子」という「否定された目」で見られる…。そんな可哀そうな状況にあったのです。

一言でいえば、存在を祝福する温かい笑顔にさえ包まれば、望ましい社会行動を

新刊情報

『なぞとき×算数脳 子どもは難問が大好き！』

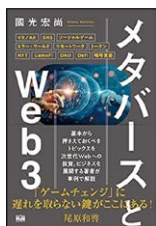
高濱正伸 著 (中央公論新社)



伸びる子ほど「なぞとき」や「パズル」が大好きだったり、野外活動を楽しんだりします。その理由は、遊びのなかで自然と「算数脳(数理的な思考力)」と「非認知能力(数値化できない能力)」が鍛えられるから。「算数オリンピック」の出場者のように、「もっと難問にチャレンジしたい!」「もっと問題を出して!」と勉強にやみつきになるのは、やらされ感のないゲーム感覚がそこにあるからです。花まる学習会が30年ほどかけて培ってきたメソッドの秘中の秘——本書で、算数の勉強や子育てのコツを惜しみなく公開します。中学受験するかどうかを悩んでいる親御さんには、巻末のQ & Aがおすすです。

『メタバースとWeb3』

國光 宏尚 著 (エムディエヌコーポレーション)



「メタバース」と「Web3」という激変の時代の二つのキーワードについて、歴史的な流れを含め、わかりやすく解説している1冊である。本書を読めば、中高生のわが子が話題を振ってきたとしても、恐れることなく対話できるだろう。

高濱の本棚

とれる多くの子たちが、【否定の目】心が硬くなる↓問題行動↓否定の目】という悲劇のループに入り込んでしまっているのではないか、という現状の教育界における大きな課題が見えたのです。学校の個々の先生は善意でまじめで決まったことは遵守する方々ですが、1対40という物理的制約の限界もあるでしょう。花まるエレメンタリー

スクールは「原則4〜5人で30人」を見る枠組みなので、前述の「細やかな肯定的な目や声掛け」が可能になったと思われま

す。また先月この欄で書いた、ADHDの私の生徒が、抱きしめてぬくもりを感じることと変わったことと、根本は同じなのでしょう。彼の目になりきる。いかに否定の目で見つめられているか。そういう想像をしたうえで、ぬくもりや肯定の目・笑顔で包み、「大好きだよ」と言葉にする。あらためて、一見問題を抱えていない順調に見える子たちも含めて、大事なことを再確認できました。一番大事なことは愛であり、「肯定されている、喜ばれている」と子どもが信じられること」なのです。

まあ、そのためには、結局親たちこそが、人のつながりのなかで、ねぎらわれ、かわいがられ、笑顔に囲まれ、共感され、「大丈夫だよ」と言ってもらい、安心して肯定的に世界が眺められることが大事なのです。が、近所の関係の断絶にともなって、人のつながりが崩壊していることは大きな社

会課題です。いま親をやっている方へのアドバイスは、一人で抱え込み待っていないで「外へ!」「つながりを!」「相談を!」ということになるでしょうか。

最後に、ちよつといい話を。先月に続く1年生軍団の一人、年中〜年長と「荒れる学年」であったときの、もつとも不良性を発揮していた少年Kくんの話です。年長の4月だったか、「大変だ」という声を聞いて見に行ったとき、走り回り触つてはいけないものを触りと、自分勝手にふるまう領域を広げんとしていたので、肩をつかんで熊の咆哮さながらに「何やってんだ!」と叱りました。この迫力で年長さんであれば、フツツと泣き出し「ごめんなさい」と言うのがいつものことだったのですが、Kくんは、体を少し斜めにしてにらみあげながら「はあ?」と言ひ、「叩けば?」「何だよ!」と言ひ返してきたのです。もちろんどこかで覚えた真似つこなのですが、まあなんとこんな少年もいるのかと驚いたのを覚えて

います。それから1年半が経ち、今年度からは私自身が直接の担任ですから、10名近くは落ち着かなかつた状態から、きちんと制し、愛を降り注いだおかげで、すっかり全体も落ち着いてきました。Kくんにいたっては、古典の素読の暗唱を誰よりも頑張ったり、レインボータイムの難問に挑戦したりと、大幅改善をしていました。そして先日この

と。一人だけ居残つて、コリコリと作文を裏まで書いています。その姿がかわいくて「将来なんかやりたいものでもあるのか」と聞くと「あるよ」と即答。「え、何?」と聞くと、すぐには表現できなかったのですが、「薬とか作るあれ」というので、「研究者?」と私。「そうそう、それ」とKくん。「どうして」と聞いたときの彼の答えがふるっていました。「お母さんに長生きしてほしいから、長生きの薬を作つて、お母さんにのませるんだ。ずっと一緒にいたいから」

あの元「不良」の口から、出てくるその言葉。私には映画のなかのような、時間が止まつたような、不思議な感覚になりました。ああ、教室の現場は、これだからたまりません。課題上等。平和ななかで授業ができることに感謝し、真剣な態度とあふれる愛情を持つて、一人ひとりと向き合つていきたいと思っています。

花まる学習会 高演正伸

高演正伸 講演会

「メシが食える人、モテる人に ～親ができる具体策～」

日時 2022.11/27日 10:30 ~ 12:00

開催方法 オンライン

(花まる子育てカレッジ YouTube アカウントより生配信)

期間限定 アーカイブ配信予定

花まるだより 2022年11月号

(令和4年11月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう

花まる学習会

発行人 高演正伸

企画・編集 久慈 菜津紀

編集 金井 彩・清田 奈南

坂田 翔・高橋 奈穂

デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子

印刷 アークランド株式会社



タケノコシート &

フィードバックシートをお渡しします！



花まる学習会では、試験に通る力もさることながら、社会に出て魅力的で自立できる大人を育てたいと考えています。そのために必要な力を、次の7つに分類しています。

7つの力

- ① 規範（律する力）
- ② 基盤力（こなす力）
- ③ 想像力（思い描く力）
- ④ 言語力（ことばの力）
- ⑤ 始動力（はじめる力）
- ⑥ 思考力（自分で考える力）
- ⑦ 完遂力（やりとげる力）

このどれもが、子どもたちが社会に出て自立するためには不可欠です。「タケノコシート」では、この「7つの力」にもとづいて一人ひとりの今の強みと、これからより鍛えていきたい部分をお伝えします。

花まる学習会に通っていただいているからには、より正確に私たちが目指しているところをお伝えし、ご家庭と連携して子どもたちの力を伸ばしていきたい、と考えています。

年中・小学3年生

「タケノコシート」

年内最後の授業で、「タケノコシート」を連絡帳に貼りつけ、お子さま一人ひとりにお渡ししています。このシートは、お子さまのどんな力が

伸びているかを把握していただくものです。

年中・年長コースの「思考実験」は、③から⑦の将来に必要な思考力の礎を作るものです。ただ「楽しそうだな」ではなく、将来に向けて何を伸ばしたいのか、という点を理解して声かけをしてあげてほしいと思います。とりわけご家庭では、そのさらに土台となる①について、気にかけていただきたいところです。

長年多くの子どもを見てみると、

資質・才能はあっても、やるべき宿題を出せないというような、規範の壁でつまづく子どもも少なくありません。それは、元をたどれば幼児期の習慣づけです。まず①を固めることがこの時期に重要な視点なのです。

④ことばの力は、家庭の力です。

低学年時代は、音声知識が優先する時代ですので、耳からの知識、家族が使っている言葉はとても影響します。たとえば、普段の会話で、「相手が何を言おうとしているか」に焦点を当てられない子が、入試問題で「問題作成者が何を言いたいか」をとらえられるわけがありません。相手の言いたいことをつかみ取って答えを返すという言葉のキャッチボールが、いかに大事か、ということです。

1. 正しい言葉遣いをしているか
2. 聞かれたことに答えているか
3. 豊かな表現になっているか

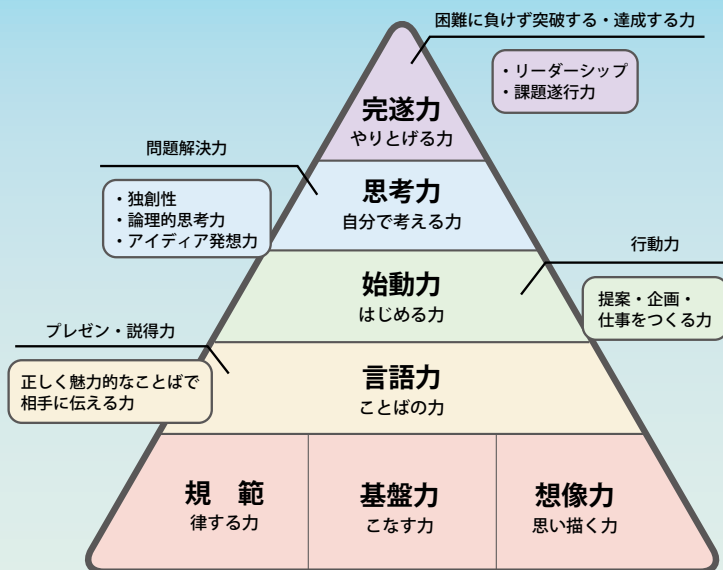
この3つの視点をもとに、お子さまとの会話を充実したものにしてくださいます。

保護者のみなさまからの
声をご紹介します。

冬休みの序盤は、「ゲームを取り上げるよ」「いやだ」「じゃあやることをやりなさい」の繰り返しで喧嘩ばかり。そこで、一生懸命書いてくださったタケノコシートを見ました。この子が教室で新しい問題にたくさんチャレンジし、ワクワクしながら取り組んでいる様子がよくわかりました。振り返ってみると、元々、未知の問題にも臆せずぶつかってほしい、図形や空間認識のセンスを養ってほしい、それらを含めて、楽しみながら学習に取り組んでほしいという思いで花まるに入会しました。それなのにいつの間にか字が汚いことや、計算ができないことに腹が立ってしまい、どんどんできないことに目が行くようになっていました。できないことばかり指摘してしまっている自分に気づき、反省しました。この子なりに、一週間に一度の花まるを心待ちにし、精一杯頑張っていることがわかりました。

これからは、頑張っていること、できるようになったことに目を向けてたくさん認めてあげたいと思います。タケノコシートは私自身を見つめなおすきっかけとなりました。

7つの力



12月5日(月)～

各教室にて連絡帳をお預かりします。



12月最終授業

「タケノコシート」を連絡帳に貼りつけた状態で、お返しします。

- お預かりしている期間の「体温の記入」と「読書ページ申請」は、別途お渡しする用紙にご記入をお願いいたします。
- 教室長へのご相談も、メモやComiru、お電話、面談などいつでも受け付けております。
- タケノコシート、FBシートは、2022年9月末までにご入会の方にお渡します。



これからのスケジュール

なまえ

月	日	タケノコシート
12月	5日	
12月	6日	
12月	7日	
12月	8日	
12月	9日	
12月	10日	
12月	11日	
12月	12日	
12月	13日	
12月	14日	
12月	15日	
12月	16日	
12月	17日	
12月	18日	
12月	19日	
12月	20日	
12月	21日	
12月	22日	
12月	23日	
12月	24日	
12月	25日	
12月	26日	
12月	27日	
12月	28日	
12月	29日	
12月	30日	
12月	31日	

※12月の検算の記録はこの用紙にお願いいたします。
※12月の検算の記録は12月31日までに提出してください。

花まる学習会



小学4～6年生

「フィードバックシート」

4～6年生は「フィードバックシート」という形で、青いシートに貼りつけています（高学年プラスコースではシートをお渡しいたします）。

高学年になると、自分がやったことについて、「振り返り」ができる時期になってきます。すなわち、できなかったことに注目し、なぜできなかったかを分析し、次はできるようになるように、教訓を残していく、そして反復して身につけるというような「学習のPDCAサイクル（PLAN→DO→CHECK→ACTION）」を体得することが可能になる年代です。言葉ノートや復習ノートなど、ノート法を学ぶ意義は、そこにあります。わからなくても「まあいいや」とやり過ぎるのではなく、学習を自分のこととしてとらえ、徹底してこたわりぬける人に育てたいですね。

外の師匠が重要な役割を果たす時期です。言葉が荒れてきた、言うことを聞かない、など悩み事があれば、教室長へご相談ください。

タケノコシート、フィードバックシートをお楽しみに！



こん げ っ

今月のレインボータイム

さかた しょう はな がくしゅうかい
出題：坂田翔（花まる学習会）

【立方体になるピースはどれ？】

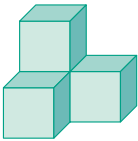
左のピースと組み合わせて （立方体）になるのは、

①～③のピースのうち、どれ？

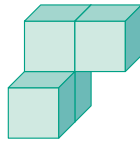
かいとう
解答はこちら！



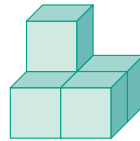
レベル 1



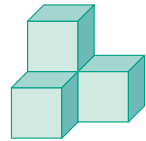
①



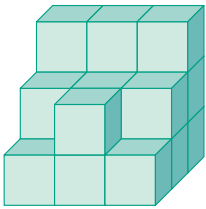
②



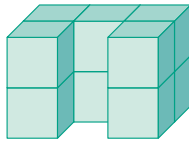
③



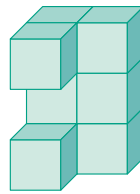
レベル 30



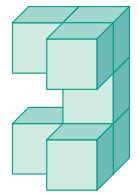
①



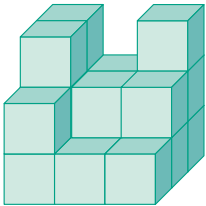
②



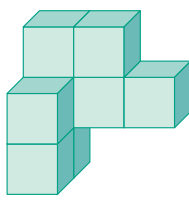
③



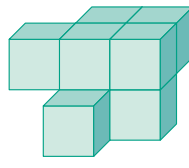
レベル 70



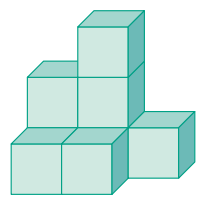
①



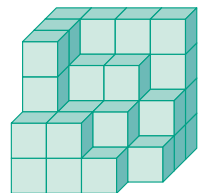
②



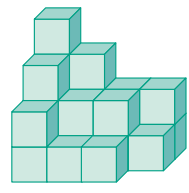
③



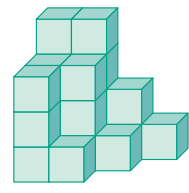
レベル 99



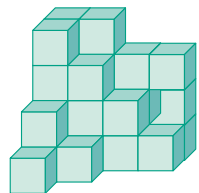
①



②



③





花まる教室長がお届けする
子育て奮闘記

花まるリビング

18

勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、3児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか。



「思い込み」を捨ててみる

十年ぐらい前、私より先に母になった友人と久しぶりに会ったのですが、その子がとても早口になっていたことに驚きました。おっとりマイペースだった彼女の話し方が、幼児を目で追いつながら、時に実際に追いつけながら、スピーディーに息を継ぐ間もない話し方へと変化していました。そして、自分が母になり、「あつ」と、私も早口になっていることに気づきます。時間に追われているから？子どもに絶え間なく話しかけられているから？自然とそうなるのでしょうか。

早口になり、思考も早回しになっている感覚のときは、つい「先回りの声かけ」——たとえば「今日はハンカチ忘れてない？」や「●●したほうがいい？あ、でも、××だから、△△だよ」といった結論まで出す声かけ——をしてしまい、(もつと自分で考えさせたいのに)と反省することもしばしばです。

何より、早口になっていると、子どもとの応酬もヒートアップしてしまいます。特に口が達者な8歳の長女とは、わーっとお互いに言いたいことをぶつけあつての親子喧嘩になる感覚があり(これは、何とかしなくては...)と考え、ふと「あえて、0.75倍速で話そう」と思いつきました。

「0.75倍速で話す」を意識してよかったこと。①自身の気持ちを俯瞰しながら話すので、反射で言葉を発することが少なくなり、吟味した声かけができる。特に私は、反射で返すと、「でもね」「たださあ」といった否定から入る癖があったことに気づけた。

②子どもを待つことができるようになった。信じて待つことが大事とわかっていても、日々の生活に追われると忘れがち。0.75倍速で話すと、自分の心のなかに「待つ」イメージも同時にわく。読んでみて「試してみたい!」と思った方は、ぜひ、その結果も教えていただけるととても嬉しいです。

話は変わって、長女の宿題問題。1日1ページの宿題が定着しなかったのですが、少しだけ光が見えてきました。宿題の冊子を二冊購入して親も一緒に取り組む、という作戦。「弟も妹(赤ちゃん...)も宿題はないのに、どうして私だけ」と不満だった長女には効果的だったようです。

と、ここまではよかったのですが、横で宿題をするようになって、今度は「じゃべり続けながら手を動かす」というのが、非常に気になる。案の定うっかりミスも多い。「集中して」と注意をする、娘のやる気がどこかに行ってしまう悪循環。親子の宿題バトルに終わりはあるのでしょうか。

この二つのエピソードの共通点は、実は「私の思い込み」です。花まるの授業、特に年中、年長、低学年はスピーディーに進みます。それは幼児の特性に合わせているから。ずっと授業をしてきてその効果を十分に感じていたので、自分の子育てもそのテンポでやっていたのですが、「先生ではなく、親としては、早いことにこだわらなくてもいいかも?」と思ってやってみたのが、あえてゆっ

くりしゃべる方法でした。

また、宿題をやっているときに娘のおしゃべりが気になるのは、花まるの教室の静寂な空間で、さすがお、サボテンに向き合つ子どもたちを見てきたから。「宿題は静かに取り組ませるべき」と思い込んで娘を注意していましたが、「いまは、この子は(静寂=集中)に一人で入り込める段階じゃないってことで、まあいいか」と思い込みを捨てると、親としてはぐっと楽になりました。

花まるの先生として学んだ本質を軸に。ただ、「こうすべきだ」という思い込みは必要ない。目の前の子どもは世界にひとりだけなので、「親として」、相手のことをよく知るために観察して、柔軟にアレンジしていききたいなと思った最近の出来事でした。



『だてだてのおばあさん』

佐野 洋子 作・絵
(フレーベル館)

98歳のおばあさんが「自分はおばあさん」だという思い込みを捨てると……こんなことにも、あんなことにもチャレンジできる!その姿を見て、チャレンジする勇氣と幸せをわけてもらえる絵本です。子育てに限らず、自分自身についても、不要な「思い込み」があったらそれを捨てて、身軽になってみたい、と考えさせられました。

職人の無^む人^{じん}島^{とう} レポート 19

いよいよ近づくサマースクール。「花まる子ども冒険島」で子どもたちを受け入れるため、カトパンと職人の新たな挑戦が始まりました。

醤油メシ⑤

夕方。拠点に戻ると、醤油メシの支度をした。米、水、以上。あとは炊きあがるのを待つだけだ。ナベを火にかけてしまおうとやるのがなくなっってしまったので、ちよっと釣ってみるか竿を出してみたら、カトパンのほうに小さなコチがかかった。丸ごと焼いておかずにする。箸はなかったたので、その辺の竹からナイフで削り出した。炊きあがった白米にコチと竹箸を添えてみると、かえってひもじさが増したように見える。なぜだ。ともあれ、準備は万端。最後は傍らに醤油。これで揃った醤油メシ。いざ、食うべし。

炊きたてのご飯がごちそうに見える。ほかほかの白米の上に醤油を垂らすと、湯気とともに広がってきた香りが顔を包む。ほどよく醤油がまぶされたところを箸でとり、口に運ぶ。ンまあーい！ああ、幸せ。ご飯一口でこんなに幸せになれるとは。おまけに、入れてないのになぜかほんのりバターの香りがする。子どもの頃好きだった「バター醤油ご飯」の思い出が記憶の底で舞い上がったのかもしれない。マドレーヌと紅茶にできるのなら、白米と醤油に

だってできるはずだ。疲れのせいか、さらに醤油がほしくなる。「もうやめなさい」という人もいないので、その後も交互に醤油をかけかけ、ふたりで醤油メシを掻き込んだ。

むしゃむしゃ。醤油メシは、家では再現できない。ただ白米に醤油をかけたものではないからだ。むしゃむしゃ。いい風景を見ながらの食事はおいしくなる、と言いたいわけではない。もちろん味もおいしい。むしゃ。しかし、醤油メシの本当の価値は、味ではなくありがたみにあるのではないかと思う。食があること自体へのありがたみ。それは、風光明媚な場所への観光ではなく、無人島という文明から離れた環境に身を置くからこそ得られる感覚だ。醤油メシは、食事でありながらそんな蒙を啓く体験でもある。いままで、メシを「食べさせてもらってきた」子どもたちが、初めてメシを「食べて」何を感じるのか。そこに「メシが食える大人」の核になる重要な意味が潜んでいる気がする。むしゃむしゃ。醤油メシは、無人島を象徴する食だ。むしゃむしゃしながら、そんなことを思った。

Q. お気に入りの場所はありますか？ Q. 一番おいしかった料理は何ですか？

新コーナー！

無人島質問コーナーはじめます！！

みなさまからの無人島への質問やリクエストを募集します。子どもからの質問も大人からの質問も大歓迎！おたよりや SNS、YouTubeにてお返事する予定です。

宛先はこちら mujinto@hanamarugroup.jp



星の前の訪れる鮮やかな夕焼け



無人島を象徴する食、醤油メシ。箸は竹。

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深く関わってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



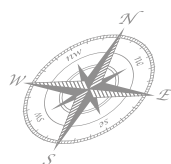
職人 橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から、「職人」のモデルネームを持つ。その経験を中心に、野外体験「ものづくりの国」、オンライン工作教室など、独特なイベントを担当している。家具製作技能士、狩猟免許など、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。今回、趣味のキャンプ経験を買われ、無人島開拓に喜んで参加した。



今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールF C卒業生のその後に迫るインタビュー！
第16弾は、国家公務員として活躍している、伝説の卒業生にインタビューー！

ようこそ先輩！！



さとう りょう
佐藤 瞭さん

【花まる学習会・花まるアルゴ】南浦和教室（～小3）
【スクールF C】南浦和校 特算・スーパー算数（小4～6）
＊担当教室長：高濱正伸、西郡文啓、
Rin（井岡由実）、水口加奈 ほか
【進路】開成中学校・高等学校→東京大学
【現在】国家公務員（経済産業省）

■花まる・アルゴ・F Cの思い出

高濱 小学4年生からスクールF Cで瞭を教えたんだよね。

佐藤 はい。3年生までは花まるで、アルゴクラブにも通いました。

高 瞭はアルゴクラブの創業メンバー、第一期生だね。大会に参加しに、灘中学校に行っただよね。

佐 OB戦に参加させていただきました。

高 力のあるメンバーだったよ。花まるのことは覚えてる？

佐 キューブキューブになぞべー、たんぼぼ：サマースクールで川遊びの国に参加したの覚えてます。

高 F Cは…勉強合宿を覚えてる？

佐 高濱先生にビンタされたのを覚えています。

高 瞭もか！

佐 ロッジでふざけて飲み物をこぼしたり、てんやわんやティッシュをいっぱい出して拭いたりしていたら、怒られました。

高 あの頃の卒業生はみんな「高濱先生に怒られた」って言うんだよ（笑）

佐 僕たちは愛のビンタを受けた最後の学年かもしれない（笑）

■勉強に本気になった理由

高 瞭はアルゴで「問題を作ろう」と伝えたら一番真剣に、たくさん作ってきたんだよ。本気で頑張ってた子の子の問題は、その頃書いていた書籍に載せたんだよね。瞭を含め、力をつけるために必要なことを地道にやりぬいた子たちは、中学受験でも、いまこうして社会人としても、自分の道を切り拓いているからやっぱりすごいよ。

佐 作った問題を本に載せていただいたこと、思い出しました！あの頃はやるべきことをきちんとやるっていうことが、苦じゃなかったんですよね。

高 小さい頃からそうだったの？

佐 母が上手に誘導してくれていたんだと思います。開成中を目指したことも、文化祭に連れて行ってもらったりするうちに、自分のなかの目標になっていたし、やらされている感じではなく、自分の意志で勉強に向き合えたことが大きかったと思います。

高 お母さん、すごいなあ。教育に携わっていたの？

佐 いえ、いろいろな本を読んだそうです。

高 瞭はF Cから開成に合格した第1号だったから、まだ実績がないうちにお母さんがF Cを信じて任せてくださったんだよね。「大丈夫です、任せてください！」と伝えて、命がけで教えたよ。

高 小さい頃から国家公務員を目指していたの？

■国家公務員の道

高 小学生の頃に観たドラマの影響で外交官にあこがれました。けれど日本をよくしていくのはやはり経済だと思い、経済産業省を目指すようになりました。

佐 小学生の頃に観たドラマの影響で外交官にあこがれました。けれど日本をよくしていくのはやはり経済だと思い、経済産業省を目指すようになりました。

高 大学卒業後、すぐに国家公務員に



なったの？

佐 大学4年生の冬に国家公務員試験の「教養区分」に合格して、その後の官庁訪問で採用に至らず、民間企業のコンサルティング会社に就職しました。その後もう一度官庁訪問に挑戦して採用していただき、一年で民間企業から経済産業省に移って、いまはデジタル庁に出向しています。

高 一般の会社を、社会を知ってから公務員になるのは強みだね。役人の道を選んで、どう？

佐 まだまだこれからですが、とても楽しいです。

高 いや、これからの活躍が楽しみです。応援しています！

佐 ありがとございます！

中学・高校時代のことや大学生活など、全編はこちら！





「ぐりとぐら」といえば、大きな卵で作るカステラが有名ですね。ふわふわでまんまるな黄色いカステラにも憧れますが、今回は秋にぴったりのかぼちゃ料理をテーマにしました。

ぼくらの なまえは ぐりとぐら
このよで いちばん すきなのは
おりよりすること たべること
ぐりぐら ぐりぐら

(なかがわりえこ作・やまわきゆりこ絵『ぐりとぐらとすみれちゃん』福音館書店)

という歌がとも印象的な「ぐりとぐら」の絵本には、カステラ以外にもたくさんのおいしいそうな食べ物が登場します。

ちなみに、お話を書いている中川李枝子さんは、スタジオジブリ映画『となりのトトロ』のオープニングで歌われている「さんぽ」の作詞もされています。かわいい登場人物や魅力的な食べ物だけでなく、こうしたリズムミカルな言い回しも、「ぐりとぐら」シリーズの魅力のひとつです。

『ぐりとぐらとすみれちゃん』には、「ぐりとぐら」シリーズで初めて、すみれちゃんという人間の女の子が登場します。実は、すみれちゃんにはモデルがいま

す。脳腫瘍によりわずか4歳でその生涯をとしてしまったすみれちゃん。「ぐりとぐら」のお話を本当に楽しんでいたすみれちゃんのお母さんから中川李枝子さんにお礼のお手紙が届き、2人の中で文通が始まり生まれたのがこの絵本なのだそうです。

かぼちゃや畑のお手伝いが好きだったというすみれちゃんは、絵本の中でも、ぐりとぐらに大きくて立派なかぼちゃをお土産に持ってきます。そのかぼちゃの割り方がとっても豪快なのです。読んでみると、思わずくすくす笑ってしまいます。そして集まってきた森の動物たちと、かぼちゃ料理を作り始めます。できあがったのは、たくさんのごちそう。

かぼちゃの ペチャペチャに、べたべたやき、
かぼちゃプリン、かりんとう、
かぼちゃコロッケ、かぼちゃドーナツ、
むしパン、かぼちゃせんべい

こんなにたくさん料理が、たったひとつのかぼちゃから作れるなんて、子どもたちはわくわくしながら読むことでしょう。

かぼちゃは、おかずにもおやつにもなる万能な食材ですね。ぜひ、ぐりとぐらのように歌って楽しみながら、旬のかぼちゃを使った料理を楽しんでみていただければと思います。

田畑敦子

PICK UP



『ぐりとぐらとすみれちゃん』
なかがわりえこ作
やまわきゆりこ絵
(福音館書店)

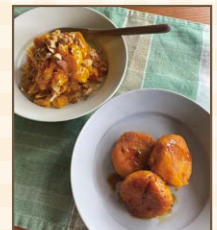


はな ぐくしゅうかい
花まる学習会
たばた あつこ
田畑 敦子

かぼちゃのべたべた焼き、かぼちゃのぺちゃぺちゃ

作業時間：30分 難易度：★☆☆☆☆

レシピ・写真提供：料理家 江口 恵子 (natural food cooking)



■かぼちゃのべたべた焼き

材料

かぼちゃ……………	1/4 個	A.	
塩……………	ひとつまみ	みず……………	おさじ1
		きび砂糖……………	小さじ2
こむぎこ……………	おさじ2	醤油……………	小さじ1

■かぼちゃのぺちゃぺちゃ

材料

かぼちゃ……………	1/4 個	はちみつ、好みのナッツ……………	適量
塩……………	ひとつまみ		

作り方

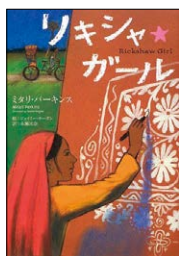
- ①かぼちゃはわたと種を取り除き、ひと口サイズにカットして皮をむく。鍋に入れて水を1センチほど注ぎ、塩ひとつまみを振り、火にかける。沸騰したら弱火にして柔らかくなるまで約10分蒸し煮にする。
- ②①をマッシュして小麦粉を加えしっかりと混ぜる。6～8等分にして丸め、平らにつぶして形を整える。
- ③フライパンを温め、植物油をうすくぬる。②の両面に軽く焼き色がつくまで焼く。
- ④Aを混ぜ合わせ、フライパンに回し入れて全体に絡める。

作り方

- ①の行程は同じ。
- ②マッシュしたかぼちゃを器に盛り付け、はちみつ、好みのナッツを刻んでトッピングする。



子どもの本で考えるSDGs



『リキシャ★ガール』

ミタリ・パーキンス 作
ジェイミー・ホーガン 絵
永瀬比奈 訳
(鈴木出版)

バングラディシュの小さな村に住むナヤマは、絵の得意な10歳の女の子。女性が働くことが当たり前ではない社会で、貧しいながらも楽しく暮らしていましたが、ある日お父さんの仕事を手伝おうとしてリキシャ（人力車）を壊してしまい……。日本とはまったく異なる文化のなかで力強く生きる主人公たちの姿が印象的な物語。SDGsの17のゴールとも深く関連する、あらゆるテーマが描かれています。



『おじいちゃんは水のおいがした』

いまもり みつひろ 作
今森光彦 作
(偕成社)

琵琶湖沿岸で60年以上にわたって漁師をしている、田中三五郎さんの日々をとらえた写真絵本。毎日の生活に必要なだけの魚をとって、湧水を飲み、野菜や果物を冷やす。地下水を利用する「川端」など、自然とともに生きる生活を伝える数々の写真がとにかく美しい。本書の映像版であるNHKスペシャル『映像詩 里山へ命めぐる水辺』は各国で数々の賞を受賞しました。



『はづれ者が進化をつくる 生き物をめぐる個性の秘密』

いながき ひでひろ 著
稲垣栄洋 著
(筑摩書房)

「バラバラ」や「たくさん」が苦手な人間の脳は、あらゆるものにレッテルを貼り、均一化し、序列化するのが好き。でもそこから出てくる「ふつう」などは単なる幻想に過ぎず、やはり生き物、文化、社会には多様性が大切。むしろ、平均からは離れた「はづれ者」こそが進化をつくってきたんだ……。雑草を研究する著者が、生物の生存戦略について軽妙な文体で綴ったエッセイ。2021年の中学入試最多出題作品です。



『いろいろななかぞくのほん』

メアリ・ホフマン 著
ロス・アスキス 絵
杉本 詠美 訳
(少年写真新聞社)

決して一つではない「家族」のかたち。何人で生活している？ どんどこにどこに住んでいる？ どんな仕事をしている？ 休みの日は何をしている？ お祝いごとや信じているもの、着るもの、毎日食べている物は……。とにかくありとあらゆる家族がカラフルなイラストで紹介されていて、多様性を知ることにつながる一冊。読めばきっと、「世界中のいろんな家族に会ってみたい！」と思えるはず。



『ぼくの先生は東京湾 (ふしぎびっくり 写真えほん)』

なかむら いくお 著
中村征夫 写真・文
(フレーベル館)

「海の報道写真家」として活躍する著者が、38年にわたって撮影し続けてきた東京湾の姿をおさめた写真絵本です。高度成長期以降、ヘドロにまみれて「死の海」と呼ばれた時期もあった東京湾。しかし、そこにもたくましく生きる生き物たちがいたのです。まだ決して解決されていない数々の環境問題と、現状を変えようと懸命に動き続ける人々の姿……。「さあ、自分には何ができるかな？」と、ぜひ考えてみてください。



12月〈第8回〉「Happy X'mas & Happy New Year!
～2022年の冬に読みたいこの一冊～」

2022年の冬は目には見えなくても大切な、この世界の普遍的なことを考えてみませんか？ 古今東西のファンタジーの名作はもちろん、世界のクリスマスや冬の情景、年末年始の行事を描いた本など、この時期に読むのにふさわしい本も多数紹介します。心温まる時間をご期待ください。

12/15 (木)・12/17 (土) 10:30～12:00 参加費 一家族 500 円 (税込)
申込締切 開催前日の 19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2022/>





ヴォルフガング・アマデウス・ モーツァルト

1756 ~ 1791 オーストリア

アノネ ラウンジ Lounge

vol.39

アノネ音楽教室の作曲家の人生を辿る伝記教材『オペラ』の一部をご紹介します！クラシック音楽の作曲家を毎回一人取り上げて、名曲が生まれたストーリーに迫ります！



モーツァルト

1756年1月27日、いまのオーストリアにあるザルツブルクの街に、世界で一番といってもいいほど有名な音楽家が誕生しました。ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト。人とおしゃべりをしながらでも、まるで天から降ってきた音を書き留めるように作曲ができた天才作曲家です。

モーツァルトの生まれたザルツブルクは、キリスト教の教会の中で特に偉い「大司教」がおさめる街で、音楽家たちが大活躍していました。モーツァルトのお父さん、レオポルト・モーツァルトも作曲家で、ヴァイオリンの先生でもありました。モーツァルトにとってのレオポルトは、お父さんであり、最高の先生でした。赤ちゃんの頃から音楽に囲まれ、5歳年上の姉ナンネルが鍵盤楽器を弾くのを見ていたモーツァルト。3歳になると、ナンネルの真似をして楽器を弾くようになります。4歳になると、ナンネルの楽譜帳に書かれている曲をどんどん弾けるようになっていきます。5歳になると、自分で曲を作りながら弾く「即興演奏」をするようになります。

「この子の才能を伸ばし、ひとびとにひろわたしめるのが私の使命だ」

お父さんはこう決心して、6歳のモーツァルトと姉のナンネルを連れて音楽の盛んな街を旅することにします。

まずミュンヘンで演奏会を成功させると、今度はウィーンへ。皇帝やお妃さまの前で演奏して、大成功を収めました。そして、フランスのパリ、イギリスのロンドン、オランダのアムステルダムなど、ヨーロッパ中の音楽が盛んな街をめぐる、王様や貴族たちに演奏を披露してまわったのです。

『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』

K.525 (1787年)

「あんな小さな子に、こんな演奏ができるなんて！」「鍵盤を布で覆ったまま弾いていたよ」モーツァルトは、信じられないほどの天才少年として有名になり、貴族たちは皆、自分たちの家で開くパーティーにモーツァルトを呼びたがりました。

しかし、この頃の旅は、すきま風が吹き抜ける馬車でがたがた道を走り続ける、厳しいものでした。華やかな成功の裏で、寒さに震え、何度も病氣にかかって、辛い思いをしていたのです。

ザルツブルクに時々帰ってはまた旅に出る暮らしを続けたモーツァルト。旅先でたくさんの人に会い、音楽の学びを深めて、13歳のときにはすでに90曲以上も作曲しています。子ども時代のモーツァルトは、旅の修行によって、天才少年から立派な音楽家に成長していったのです。

アイネ・クライネ・ナハトムジークを聴いてみよう



編集：佐藤 泉純（アノネ音楽教室）

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL7kd0pC6w0ucOxb6xRtYKpIsuzalWxRo>

こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

40

より良い自分でいたい気持ち

私が出会う子どもたちのなかには、いわゆる学校などの集団生活での評価軸では認められにくい子もいます。

試験のような「正解」「不正解」がないアートの世界では、「自分がどう感じたのか」ということがすべてです。「自分は何に興味があるのか」ということの表明を、作品制作を通して行い、それを丸ごと認めてもらう。どんな意見も「そうなんだね」と受け止めてもらい、みんなで「それもいいね」という雰囲気になっていく。評価軸ではない学びの場で、誰か大人が「存在すべてを受け止めてくれた」という経験は、彼らに、世界に対する信頼と勇気を与えるのだと思います。

春、ある保育園で出張授業を行いました。すぐにまた訪れるはずが、コロナの状況を鑑みて、再訪できたのは秋になってからでした。幼児期の子どもたちにとって数か月というのは、永遠にも近いほどの長い時間

です。(私は、彼らが何もかもすっかり忘れていたのではないかと思っていたくらいです。)

その日の朝のこと。園庭で竹馬を見てほしいから「時間があったら、見てください」と彼は園長先生にお願いしました。「いつもはそんなふうには言葉を使えないのに」丁寧な言い方ができるなんて!先生は彼の突然の変化に驚きました。

発言からも地頭が良いことがわかるけれど、落ち着きはなく、周囲からは浮いてしまう印象の男の子。感情をコントロールすることが苦手で、その解決方法がわからないうちに保育士の先生方も、喧嘩やいざこざの対応に追われる日々。先生たちの愛情を独り占めするかのよう、遠くの職員室にもいつも彼の声が届いていたそうです。

いつもよりも静かな教室で、その日園長先生は彼の姿を「探さなければどこにいるのかもわからなかった」ことに驚いたと、後でこっそり教えてくれました。彼は一番前を陣取って、前のめりに授業に参加していたのです。

その日の観賞会。彼は発表したいと張り切って手をあげてくれましたが、発言をまだしていない子を順に当てていくうち、つ

いに時間が来てしまいます。「当てられなくてごめんね」彼はわかりやすくガツクリと肩を落とし、ため息をつきました。でも、それだけでした。そう、彼はそのとき、いつものように悔しさを攻撃に転嫁したりせず、自分の気持ちを抑えようとしたのです。

なぜそのような変化が彼やそのほかの子どもたちのなかに起こったのか、その日の振り返りの時間のテーマとなりました。

「自分という存在を丸ごと認めてもらえるんだ」という「信頼」の記憶が、数か月前のたった一回の授業でも、彼の心に「信頼される自分でいたい」という気持ちを引き起こしたのではないだろうか。

言われたことに従うのではなく、自分で決めることを尊重される。意見や作品を大切に聴き、扱ってもらえる。当たり前のようだけれど、そんなふうに「信頼」されていると感じることで、子どもたちの心には見えないけれど「誇り」のようなものを育てるのかもしれない。

それは、「よりよくありたい」という人間の根源的な成長への喜びのようなものなのだと思うのです。

Rin (井岡 由実)



オンライン
Atelier for KIDS

全国から
参加可能!

Rin (井岡 由実)

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会・中年長向け教材開発に携わり、冊子『1年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばすAI時代の子育て』(実務教育出版)ほか。

RinせんせいのSNS
ARTのとびらYouTubeなど
すべてのリンクは
こちらから▶



12/18(日) 10:30 ~ 12:00 立休ペーパーART

参加費 1名 3100円 (税込・材料郵送費込)
定員 年長~中学生 36名 (抽選) ※年長はリピーターのみ
申込期間 11/4(金) ~ 11/30(水) 19:00

<https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>



小池麻葉・プール | 御朱印帳集めが楽しみで、私が初めて見た本物の御朱印帳は、彼女のものでした。その風合や墨汁の色目に魅入られ、私も細々と始めることになりました。いつも笑顔で、教え子エピソードを語る姿が微笑ましく、会うと孫を見る祖父のように「なんだか幸せだなー」と感じさせてくれます。

メシが食える大人に育てる学校

花まるエレメンタリースクール

～自分の心を大切に、人の心を感じ取る力を育む～

【対象】小学 1～6 年生 【時間】 9:00 ～ 14:00 【曜日】 月曜日～木曜日 【料金】 7万円(税込 77,000 円) 教材費込み※入学金なし

豊富な野外体験

(外遊び)

- ・無人島でも生き抜ける力を
- ・友達を大切にできる力を
- ・思いっきり動ける体力を



羽を広げて羽ばたくように学びはじめた子どもたち

～花まるエレメンタリースクールの子どもたちが教えてくれたこと～

我々がチーム一丸となって、本気の愛と笑いで子どもたちを包み込めば、彼らは安心してのびのび学んでいき、生き生きと歩みはじめることを日々目の当たりにしています。そして“学ぶことが楽しい”という根源的なものが芽生えていくのです。これまでたくさんのお悩みを聞いてきて思うことは、子どもが子どもらしくいられる場所が少ないこと、独特の同調圧力に苦しんでいる子が多く、どこか“自分が自分らしくいられない空気感”に困っているということです。

“ここにいていいんだと思って心が開放されたとき、
親も先生も本人も誰も想像していなかった力が湧き出てくる”

花まるエレメンタリーには、私立学校から転校してきた子もいます。不登校や保健室登校で悩んでいた子もいます。なかなか自分に合うような学びの空間が見つからずいた子もいます。また暗記中心の学びではなく、思考型・体験型が組み合わさった学びを求めてきた子もいます。現在はどの子もみな、それぞれの輝きを放ちながら、ありのままに本音で交じり合い、本気で話し合い、躍動して学んでいます。一番大切なことは子どものエンジンとなる「心と気力」です。このエンジンが回り出した途端にすべてが好転していきました。

“一人ひとりが最高に輝く魅力を必ず持っている”

相談の内容はさまざまで一人ひとりが異なる悩みを持っていましたが、みんなが個性を存分に発揮し、仲間たちとともに学び、ときに友達とぶつかり合って仲を深め、ともに学ぶ仲間がいることでモチベーションが上がり、基礎学習と体験学習に加え世界スタンダードの学習にも、個性と魅力をキラキラと輝かせながら取り組んでいます。基礎学力・基礎体力・実体験に基づく知識。これらを大切にしながら心を解放させ、自己肯定感が上がり自信をつけていきます。

“人と人のつながりの中で笑顔・個性・知性が磨かれていく”

見学に来られたある自治体の教育関係者の方からこんなお言葉をいただきました。「エネルギーと可能性に溢れる時空間。自然と笑顔になれる、自らの存在自体をありがたいと感じられる場のパワーに、圧倒されました。」ある民間教育企業の方で長年公立学校との縁も深い方が、「こんなに元気にのびのびと子どもたちが授業を受けている姿は見たことがない」と言ってくださいました。そして我々にとって最高の仲間でもあり生徒でもある花まるエレメンタリーの子は言います。「本当にこの学校に来てよかった! まるで天国のような学校だ!!」と。

魅力

ABC

- ・自分の「得意」を見つけられるように
- ・周りを笑顔にできる人に
- ・元気にあふれ一生懸命になれる人に



高い学力

- ・生き抜く土台となる思考力
- ・難関の問題も楽しみ突破する力
- ・9教科もアシスト
30年の知識と実績をもとに
「学ぶことが楽しい」をアシスト



強く豊かな心

- ・逆境を楽しむたくましさ
- ・挑戦することを楽しむ力
- ・自分の心を見て自分のフワフワを見つける



ホームページは
こちらから!



花まるエレメンタリースクール
校長: 林 隼人 (通称: ハヤタカゲ)

教育・農業・アート&ファッションと多岐にわたり活動している。
そこでできた人との縁や活動内容を、子どもたちの体験へと変えていく。
すべては子どもたちのために、
命を燃やす校長。

- ・英語も話せるバイリンガル
- ・花まるグループ 農業×ビジネス教室
“かぶしきがいしゃみんなビレッジ”主宰
- ・アート&ファッションブランド
“NOT≠ EQUAL” (ノットイコール) 代表
with Jo
- ・元中学校英語教諭
- ・元グローバルアスリート英語サッカー &
英語チアスクール学長

普段の様子がわかる
公式インスタグラム





“基礎学力”を身につける！



国語

- 文字（漢字） ●語彙（言葉遊び）
- 文章読解 ●作文 ●表現力



算数

- 数の概念 ●計算 ●図形
- 立体 ●論理思考力



社会

- 歴史 ●地理 ●国際社会



英語

- 英語が好きなカリキュラム
- グローバルな視点



総合的な学習

- 実体験を通じた主体性
- お金の教育 ●農業



理科

- 観察 ●実験 ●自然



音楽・美術

- 心と幸せ ●デザイン・アート
- クリエイティビティー ●作文 ●表現力



体育

- さまざまなスポーツの体験 ●身体的健康
- 精神的健康 ●運動神経と体力の向上



図工

- 創作活動 ●感性
- ものづくりの精神

“楽しい”と“好き”の心に火をつける！

実体験に基づく知識を養う

PBL



プロジェクトを進めながら
多角的な知識を身につけていく

総合学習



教科に捉われず世の中のさまざまなことに
興味関心を持っていく

英語×スポーツ



スポーツを通じて
英語を学び、英語が好きなになる

遊学



選択制学習時間。
子どものアイデアを実現し探求していく。

先生たち



山・川・海と同じように「人」が環境をつくる。
子どもたちを愛し、安心して学べる場を。

ディベート×ディスカッション



集団やチームの中での
コミュニケーション能力を身につける

実験



発見する感動を通じて学びの楽しさを知る

じぶんの時間



とことん自分の興味関心と向き合う

農業



ゲームやYouTubeでは味わえない、コントロール
できないものをどう感じていくかを問う



花まる学習会

Hana maru
Intellectual lifestyle creator since 1993

子どもたちと 会社をつくる！

教室は畑と田んぼと地域社会！

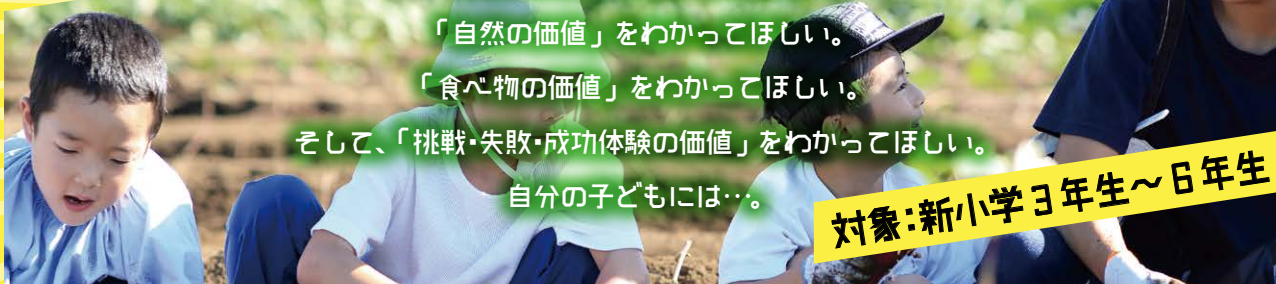
農業×教育

自分たちで何をどう育てるかを決めて
自分たちで育て、
育てた農産物は販売して
稼いだお金の使い方で
子どもたちが考える、
ストリートスマート(実践力)を
育てる究極の哲学。

新規生徒募集中！

かぶしきがいしゃ

みんなビレッジ



「お金の価値」をわかってほしい。

「自然の価値」をわかってほしい。

「食べ物の価値」をわかってほしい。

そして、「挑戦・失敗・成功体験の価値」をわかってほしい。

自分の子どもには…。

対象：新小学3年生～6年生

これら、実際の活動を体験できます！



木材を切る、釘を打つ /

大工仕事



土に触れ、畑を耕す /

農業



自分たちで作った野菜を
自分たちで販売する /

販売業

体験会スケジュール

三鷹台・吉祥寺

1/14(土)

対象 新小学3年生～6年生

時間 10:00～11:00

お申し込みは
こちらから！



浦和

1/21(土)

対象 新小学3年生～6年生

時間 10:00～11:00

お申し込みは
こちらから！



港北ニュータウン

1/22(日)

対象 新小学3年生～6年生

時間 10:00～11:00

お申し込みは
こちらから！



Instagramもチェック！



MINNAVILLAGECO

お問い合わせ: minnavillage@hanamarugroup.jp

SPORTS SAMURAI

スポーツサムライ

家ではずっと
YouTubeが
ゲーム

感情の
コントロール
が苦手

ゾーっと
しゃべっている

定位置は
ソファ

いつも**体力**が
あり余っている

私たちが子どもだった頃、当たり前のようにできていたこと…思いっきり笑
い、思いっきり走り、思いっきり遊び、ときには思いっきり叱られる。それが本
来の子どもの姿だと思います。では現在はどうでしょうか。公園に行っても
「〇〇禁止」の看板が並び、子どもが子どもらしく生きられない、そんな時代に
なっていました。子どもたちを取り囲む環境や社会が、本来の「子どもら
しさ」を奪い、まるで「小さな大人」にしようとしているように思えます。私た
ちが子どもたちのためにしなければならないことは、「子どもらしさ」を奪う
ことではなく、「思いっきり」を表現できる、そんな居場所を与えてあげること
です。「子どもが子どもらしく、ありのままにいられる」そんな居場所を、ス
ポーツサムライを通じて、子どもたちとともに創り上げていきます。

誰もが楽しめる 新しいスポーツ

「楽しむ」ことにフォーカスし、遊び感覚で基礎体力、運動能力が向上するよ
う、専門的なスポーツカリキュラムで構成されています！

スポーツ × コミュニケーション

いろいろなアクティビティを通じて、コミュニケーションを取る時間を作るこ
とで、子どもたちが自分の気持ちやアイデアを伝える力、そして、相手の気
持ちや価値観を理解しようとする力を身につけます。

逆境を楽しむ力 挑戦することを楽しむ力 失敗を恐れずに楽しむ力

失敗するのは怖いけれど、失敗したときに初めて成長するためのステップな
のだと実感します！多くの「失敗」をし、そこから何かを学び、それを次のア
クションに活かす能力が求められる時代だからこそ、スポーツサムライでは、
多くの失敗を通じて、子どもたちの「逆境・挑戦・失敗を恐れずに楽しむ力」
を育みます！

集中力が
続かない

体を動かすと
すぐに
息が切れる

団体行動が
あまり得意
ではない

運動が
苦手だと
思っている

無料体験会スケジュール

東京エリテ

お申し込みは
こちらから！



対象
年中～小学2年生：
16:00-17:00
小学3～6年生：
17:15-18:15

神奈川エリテ

お申し込みは
こちらから！



対象
年中～小学2年生：
16:00-17:00
小学3～6年生：
17:15-18:15

埼玉エリテ

お申し込みは
こちらから！



対象
年中～小学2年生：
16:00-17:00
小学3～6年生：
17:15-18:15

インスタもチェック！



SPORTS.SAMURAI

『いま』を見つめる

先日、栃木県の足利市に行ってきました。日本最古の学校と言われる足利学校を参観したり、森高千里さんの歌で有名な渡良瀬橋で沈む夕日を眺めてきたりしたのですが、途中、町中にある本屋にも立ち寄りしました。地方の本屋には郷土の本が置いてあるので好きなのです。そこで期待したとおり、素敵な本に出合うことができました。船曳由美さんの『一〇〇年前の女の子』（文春文庫）という本です。足利市の村を舞台に成長していく女の子が主人公の小説です。母親が語ったことを、娘である著者が書き記したのですが、子ども時代のことがとても詳しく描かれていて、母の記憶力と娘の描写力に驚かされます。この本自体はどこでも手に入るものでしたが、足利の本屋でなければ目に留まり手に取ることはなかったはずなので、偶然の出会いに感謝です。

そこに書かれた子ども時代の記録は本当に豊かなもので、読んでいて羨ましいとさえ感じられるものでした。雨が降っても風が吹いても、基本的には同じ生活を送ることが当然とされる現代の都市生活とは違い、自然と対峙しなければ生きていけなかった農村での生活は、それだけに季節の変化に敏感であり四季折々の

祭事も多く、記憶に残ることも多かったのかもしれない。しかしそれだけが原因ではないでしょう。多くの人にとって、子どもの時代は同じ時間でも長く感じられるものです。小学校の六年間や中学校の三年間は、大人になつてからの同じ時間と比べると長かったように感じられます。いまとなつては信じ難いことです。が、二十分程度の休み時間でも校庭に出てドッジボールを一試合終えて戻るといふことをやっていたのですから、本当に時間が長かったのか、かもしれません。

一般的に楽しい時間は速く過ぎ去り、退屈な時間は長く感じられるものですが、この場合この法則は当てはまらず、時間の密度が違つるように思えます。意外かもしれませんが、子どもたちは時間の使い方が上手いのです。「それはない」と思われる方もいらっしゃると思いますが、大人の考える時間の使い方とは違います。「次の予定のためには、ああしてこうして」という未来に捕らわれた時間の使い方ではなく、「いま」という現在を生きているという意味で、子どもは時間の使い方が上手いのです。大人から見るとただ「ぼーっとしている」ように見える時間も、



子どもにとっては「いま」を堪能している時間です。多くの子どもたちがやっている消しゴムのカスを丸める遊び（私もやっていました）も、「いま」目の前にあるもので遊べるものを採った結果でしょう。可塑性のある物質を捏ねまわして、何かをつくろうとする行為は、人間にプログラミングされた大いなる力であり、やがては土器の発明につながり、食物の貯蔵が可能になり……というのは大げさにしても、「いま」に集中し没頭している時間であることは、疑いようがありません。

やがて成長し、言語の力が高まって、認知が言語に支配されるようになってくると、次第に「いま」が追放されていきます。

電車に乗ればスマホを見たり、本を読んだり、考えごとをしたり、「ここではない何か」に心が奪われてしまっています。大人にとってそれは必要なことでもあります。文明がこれだけ発達した現代において、「いま」しか考えないことは無責任なことであり、先々のことも考えるのは大人にとって当然の義務だとも言えます。ただ、子どものように目の前の景色を純粹に眺め、車窓についた水滴に映る逆さまの世界に魅了される、まさに「いま」を堪能する時間をもた貴重な時間の使い方ではあるのです。

中島義道さんの『晩年のカント』（講談社現代新書）によれば、哲学者のカントはこのように語っていると云います。「何も為すべき仕事をもたない人びとには、どんな時間でも随分長く感じられるが、回想すれば、その長かった時間もどこに在ったかわからないほど短く思われてくる。しかし仕事に忙しい人には、これが逆に感ぜられる。」カントに従えば、長かった子どもの時代は「為すべき仕事」を持っていたと言えるでしょう。子どもたちにとってそれは「いま」を堪能することです。「ぼーっとしている」ように見える、そのまなざしの向こう側で、「いま」という時間を見つめているのしょう。この世に長く生きて慣れてしまっている大人は忘れがちですが、世界は不思議な魅力にあふれているのです。子どもたちは純粹な目で、世界の「いま」の魅力を見つめているのです。

花まる学習会 山崎 隆



山崎 隆 Yamazaki Takashi

東京東ブロック教室長。千葉県の内陸部出身。2歳上の姉と3歳下の弟と、だだっぴろい関東平野の片隅で育つ。小さい頃、外遊びはもちろんだが室内で遊ぶのも好きで、図鑑を開いては恐竜のいる世界を想像していた。高学年の頃より伝記を通して歴史に親しむ。休みの日には、青春18きっぷで目的もなく出かけることを楽しみにしている。

季節を感じて

先日、一人の女の子から「栗」をもらいました。それも、丁寧にラッピングまでされていました。私の名前をかわいの手紙に書いて、さらさらしたマスキングテープで止めてくれていました。突然のプレゼントに驚く私を見て

「その表情が見たかったの〜！」とでも言うように、満面の笑みを浮かべるAちゃん。「どうしてプレゼントをくれるの？」と聞いてみました。Aちゃんは、こう答えます。「この前行ったキャンプ場に、栗の木があったの。『秋といえば、栗ひろいでしょ!』と思って拾ったら、

『誰かにあげたい!』と思って、お父さん・お母さんと、先生にもあげようと思ったんだよ!」そう教えてくれました。Aちゃんは、小学1年生。よく考えているなあ〜と、感心しました。食欲の秋、栗も秋を感じさせてくれる風物詩の一つです。縄文時代には主食のように食べられていたようです。栗林が「財産」として勘定されていたのは鎌倉時代です。いまでは財産ではなくなり、人間の主食からも外れています。それでも秋になると「栗ご飯」を食べたくなるのは、季節の風物詩ゆえか、栗の純粋なおいしさゆえか、はたまた

人間のなかに脈々と受け継がれているDNAゆえか。味も含めて吟味したいところですが、お腹が減りました。食べたくなる理由の議論にはとても興味深いものがあります。ただ栗ご飯の「おいしさ」には議論の余地がないようなので、ここでやめにしておきます。

ある日、Aちゃんのお母さまから相談を受けました。「うちの子、『夢中になる経験』をしていますか?このままで大丈夫なのでしょうか?」と。私は授業中の様子と合わせて伝えました。

「授業中、新しい迷路問題に出会うと、まずは自分で挑戦することのできるAちゃん。その集中力と、パッと手が動く始動力がステキです。そして、一度ゴールしても次の問題には進まず、その問題を満足するまで楽しんでくれています。『この迷路に、扉をつけていい?』『空を飛んでゴールしたら一瞬だよね』『あ、宝箱の前に落とし穴を作っちゃお!!』と、無限の発想力で楽しみ尽くします。そして野外では、キャンプ場に栗があることを知って、だれにあげるかまで考え抜きました。それ

花まるコラム

2022年11月

て充分、夢中になるための原体験です。とってもステキなこと。そこからの『もっとやりたい!』という気持ちを大切にしましょう。現に、ご両親や私に栗をプレゼントできたことが嬉しくて、その翌週には、おじいちゃん・おばあちゃんやテーブルの先生にも渡そう!とアイデアが広がりましたよね。もう、夢中になっています。そのままいいんですよ」

お母さまは安堵したようでした。そして、「母の『やらせたい』

ではなく、わが子の『やりたい!』をこれからも大切にしていきたいと思います」とおっしゃいました。後日談ですが、「栗のプレゼント」はお母さまがかなりサポートしてくださっていたようです。栗の状態が悪くならないように、冷蔵庫で保管。ラッピングなども

Aちゃんの主体性を尊重しながら、手伝いすぎず、投げ出さないように。と、良い塩梅で側についてくださったとのこと。季節を感じることで、できる『「最幸」の贈り物』を、本当にありがとうございました。

子どもたちへのサポートといえば、

日々の宿題が終わったあとにしてくださる「花まる」。おうちの人から花まるをもらえること。それだけで子どもたちのやる気につながっています。本当にありがとうございます。保護者のみなさまへの感謝の気持ちが、またふつと湧き上がってきました。忙しくてどうしても丸つけができないときは、「頑張ったね」だけで構いません。一言、お子さまに声をかけてあげてください。お母さまが「また頑張ろう!」と意欲が育めれば、それで充分です。

いま、私はキャンプ場にいます。思い立って一人で来てしまいました。さっきまで夕焼けが見えていましたが、気がつけばもうすぐ日が落ちそうです。今日は飯盒で炊く栗ご飯。焦げないうちに筆を置いて、焚火の火を落としにしようと思います。

花まる学習会 吉田優太



はな きょうしつちよう しょうかい
花まるの教室長を紹介します！

花まるファミリー

FC …スクールFC アノネ音楽教室 アルコ …アルゴクラブ オンライン …無人島 Flos …フロス Hanaspo …ハナスポ

きょうしつちよう じゅんぱん しょうかい たの
みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！



あらい せいたろう
新井 征太郎

埼玉

東京都



いはら けんた
伊原 健太

東京西

大阪府



さかくち とおる
坂口 徹

中京

熊本県



しまむら ゆか
島村 有香

埼玉

埼玉県



すずき かずあき
鈴木 和明

関西

静岡県



なかやま しょうた
中山 翔太

東京東

アルコ 埼玉県



はしもと かずま
橋本 一馬

関西

熊本県

埼玉県



まえはら まさき
前原 匡樹

熊本県

鹿児島県



うへだ みほ
上田 実穂

東京南

神奈川県



たかはま まさのぶ
高濱 正伸

〇〇〇

熊本県

リーダーネーム

名前

所属

出身地

ゆきくに
サマースクールや雪国スクールで会おうね！

がつ たんじょうか
11月の誕生花は シクラメン



高濱が、花まる教室長をちょっとおちゃめに紹介する新コーナー！自己紹介ならぬ他紹介で、花まるの仲間たちを一年かけてまるっと紹介しちゃいます。どうぞお楽しみに！